

## You Make Majik

魔法を作るのはあなた。ここで、私が伝えたいことは、できないことは何もないということです。(この文章は、私が東京ディズニーリゾートで学んだことを、私の感性で書きましたので、全て正しいとは限らないのでご了承ください。)

私は、4回生になったときに一年間休学をして、ディズニーへ行きました。それには理由が二つあります。一つ目の理由は、【大学は人生の夏休み】ということです。大学とは、学業はもちろんのこと、社会に出る為に必要な力を学ぶ場所です。しかし、自らが積極的に学んでいかなければ、何も学ぶことは出来ません。なぜなら、大学生活とは【人生の夏休み】と言われるほど自由な時間なのです。アルバイトをしてお金を稼ぐこと、たくさん勉強をして資格を取ること、自分が求めていることが何でもできる時間です。なので、私は自分の人生を後悔しないためにも、自分の自己成長のためにも、大学生活の時間を存分に使おうと思いました。

二つ目の理由として、私はこの大学生活であらゆることに挑戦してきて、そこからあることを学んだからです。何をしてきたかという、例えば、東北へのボランティア活動・音楽イベントの主催・ファッションショーや式典の主催など、自分がやってみたいと思ったことには、何でも挑戦してきました。そこには、全てのことに共通することがありました。それは、【思いやりの心】です。何をやるにしても、人が関わっています。人のことを思う気持ちが、自分を動かし、人を動かすのだとわかりました。なので、私は【思いやりの心】が一番に学べる環境である、ディズニーへ挑戦することにしました。

休学をしてディズニーで学んだことは、数多くあります。社外に出してはいけない内容もたくさんありますので、私の主観で、学んだことを表すと、【相手の立場になって考えること】です。これは、日常どんな時でも、無意識にしていることかもしれませんが、とても重要なことです。一度意識して相手の立場になって考えてみてください。まず考えることが、思いやりの第一歩に繋がり、考えていくうちに、その人が何を望んでいるのかが、すぐに分かるようになります。誰かのために何かしてあげたいという、相手へ思いやりが持てるようになった方は、次は自分を大切にしてください。自分の思いも大切にしてください。相手に真の思いやりが与えられるのだと思います。

私が、この休学を経て変わったと感ずることがたくさんあります。それは、先ほどもあったように、自分を大切にできるようになったことです。相手に何かしてあげたいと思う気持ちが強くなりすぎてしまうと、自分が壊れてしまいます。自分のできないことも相手にして

あげたいと思ってしまうようになります。しかし、それは思いやりとは違います。自分も人、相手も人。自分という人間、ありのままの自分を大切にこそ、本当の思いやりの心が持てるのだと分かったことが、私の一番の成長でした。

最後に、私が一番伝えたいことは、冒頭でも書きましたが、できないことは何もないということです。これも、ありのままの自分を大切にすることに繋がります。できないと思い、自分を閉じ込めてしまうのではなく、自分という人間が本当にやりたいことに挑戦していくことが、今自分たちのすべきことであると思います。この文章を見た方、遅くはないと思います。今動こうと思った自分が、すでに魔法を作っています。